



平成22年11月5日

各位

上場会社名 日本精鉱株式会社  
 代表者 代表取締役社長 福井 秀明  
 (コード番号 5729)  
 問合せ先責任者 取締役 経理部長兼企画管理部長 渡邊 繁樹  
 (TEL 03-3235-0021)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	550	530	400	32.61
今回発表予想(B)	10,000	760	730	600	48.92
増減額(B-A)	1,200	210	200	200	
増減率(%)	13.6	38.2	37.7	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,289	321	324	△95	△7.63

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,700	225	290	280	22.83
今回発表予想(B)	5,900	320	370	420	34.24
増減額(B-A)	1,200	95	80	140	
増減率(%)	25.5	42.2	27.6	50.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,893	△90	80	△171	△13.68

#### 修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、当第2四半期累計期間においては特に自動車、家電産業の好調に支えられ堅調な販売状況となっており、業績も順調に推移致しました。第3及び第4四半期(平成22年10月～平成23年3月)につきましては、円高、各種景気対策の終了などもあり、景気の先行きに関し不透明感が増しております。特に電子部品向けの微粉末金属粉は季節的要因も加わり販売数量の減少が見込まれます。通期の業績見通しは、第2四半期累計期間での業績の上振れ効果により、個別、連結共に、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益において前回公表致しました予想を上回る見込みとなりました。

(注1) 当社グループの事業セグメントはアンチモン事業と金属粉末事業に大別され、「個別」の業績が当社の営むアンチモン事業の業績を示します。

(注2) 上記予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上